

冊子1

令和4年1月

定例教育委員会

1

長崎県教育委員会

1 月定例会（1）

開催日時 令和4年1月19日（水） 14時00分

開催場所 県庁行政棟「教育委員会室」

1 開 会

2 前回議事録の承認

3 議 題

○第32号議案

令和4年度長崎県立特別支援学校の幼稚部、高等部及び高等部専攻科の募集定員について
(特別支援教育課)

4 報 告

- (1) 令和4年度県立学校職員（実習助手、寄宿舎指導員）採用試験（第2次試験）及び
令和4年度県立学校職員（船員）採用試験の結果について (高校教育課)
- (2) 「長崎っ子の心を見つめる教育週間」の取組結果等について (児童生徒支援課)
- (3) 第51回九州ブロック社会教育研究大会長崎大会 令和3年度長崎県社会教育
研究大会について (生涯学習課)
- (4) 第36期第2回長崎県社会教育委員の会議結果について (生涯学習課)
- (5) 長崎県立長崎図書館郷土資料センター開館記念行事について (生涯学習課)
- (6) 長崎県教育庁職員（文化財保護に従事する者）の採用選考試験の結果について (学芸文化課)
- (7) 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について (体育保健課)

令和4年度長崎県立特別支援学校の幼稚部、高等部及び高等部専攻科の募集定員について

(提案理由)

令和4年度長崎県立特別支援学校幼稚部、高等部及び高等部専攻科の募集定員を下記のとおり定めようとするものである。

(内 容)

1 1学級あたりの定員

(1) 幼稚部 6人 (2) 高等部 8人 (3) 高等部専攻科 8人

2 募集定員

(1) 幼稚部 18人 (2) 高等部 360人 (3) 高等部専攻科 32人

3 定員の考え方

- (1) 「学校教育法施行規則(第120条)」に基づいて、公立特別支援学校の幼稚部の1学級の幼児数は6人としている。
- (2) 「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律(第14条)」に基づいて、公立特別支援学校の高等部の1学級の生徒数は8人としている。
- (3) 各学校の募集定員については、進学希望状況調査等による志願者数を基礎資料とした。

4 学校別の募集定員

(1) 幼稚部

(単位:人)

障害種別	学 校 名	募集定員	3年度定員	増 減
視覚障害	盲 学 校	6	6	0
聴覚障害	ろ う 学 校	6	6	0
	ろう学校佐世保分教室	6	6	0
計	計	18	18	0

(2) 高等部

(単位:人)

障害種別	学 校 名	学 科 名	募集定員	3年度定員	増 減
視覚障害	盲 学 校	普通科	8	8	0
聴覚障害	ろ う 学 校	総合デザイン科 理容科	8	8	0

知的障害	佐世保特別支援学校	普通科	40	32	8
肢体不自由			8	8	0
知的障害	佐世保特別支援学校 高等部上五島分教室	普通科	8	8	0
	佐世保特別支援学校 北松分校	普通科	16	8	8
	島原特別支援学校	普通科	24	24	0
	虹の原特別支援学校	就業サービス科	8	8	0
		普通科	56	40	16
	虹の原特別支援学校 高等部対馬分教室	普通科	8	8	0
	虹の原特別支援学校 壱岐分校	普通科	8	8	0
	鶴南特別支援学校	普通科	32	24	8
	鶴南特別支援学校 高等部西彼杵分教室	普通科	8	8	0
	鶴南特別支援学校 時津分校	普通科	24	24	0
	鶴南特別支援学校 五島分校	普通科	16	8	8
	希望が丘高等特別支援学校	生活サービス科 流通サービス科 環境デザイン科	32	32	0
	川棚特別支援学校	普通科	16	16	0
	肢体不自由	長崎特別支援学校	普通科	8	8
諫早特別支援学校		普通科	16	16	0
病弱・肢体不自由	桜が丘特別支援学校	普通科	16	24	-8
計			360	320	40

- 備考) 1 特別の理由がある学校については、県教育委員会と協議の上、実情に応じ、定員を超えて入学を許可することができる。
- 2 虹の原特別支援学校高等部就業サービス科の募集定員(8人)と希望が丘高等特別支援学校の募集定員(32人)については、昨年5月の定例教育委員会で決定済み。

(3) 高等部専攻科

(単位:人)

障害種別	学校名	学科名	募集定員	3年度定員	増減
視覚障害	盲学校	理療科	8	8	0
		保健理療科	8	8	0
聴覚障害	ろう学校	総合デザイン科	8	8	0
		理容科	8	8	0
計			32	32	0

資料 1

令和 2 ～ 令和 4 年度 長崎県立特別支援学校高等部志願者数等

(単位：人)

	学 校 名	学 科	令和 4 年度		令和 3 年度		令和 2 年度	
			定員	志願者見込	定員	志願者見込	定員	志願者見込
1	盲 学 校	普通科	8	0	8	0	8	5
2	ろ う 学 校	総合デザイン科 理容科	8	2	8	0	8	2
3	佐世保特別支援学校 【知的障害】	普通科	40	34	32	27	40	34
	佐世保特別支援学校 【肢体不自由】	普通科	8	4	8	4	8	3
	佐世保特別支援学校 高等部上五島分教室	普通科	8	7	8	3	8	3
4	佐世保特別支援学校 北 松 分 校	普通科	16	8	8	6	8	5
5	島原特別支援学校	普通科	24	17	24	19	16	14
6	虹の原特別支援学校	就業 サービス科	8	9	8	11	8	17
		普通科	56	45	40	30	56	49
	虹の原特別支援学校 高等部対馬分教室	普通科	8	3	8	3	8	4
7	虹の原特別支援学校 壱 岐 分 校	普通科	8	1	8	4	8	5
8	鶴南特別支援学校	普通科	32	25	24	15	32	27
	鶴南特別支援学校 高等部西彼杵分教室	普通科	8	4	8	2	8	1
9	鶴南特別支援学校 時 津 分 校	普通科	24	14	24	15	16	10
10	鶴南特別支援学校 五 島 分 校	普通科	16	8	8	6	8	6
11	希望が丘高等特別支援学校	生活サービス科 流通サービス科 環境デザイン科	32	36	32	35	32	27
12	川棚特別支援学校	普通科	16	10	16	11	24	19
13	長崎特別支援学校	普通科	8	7	8	5	8	7
14	諫早特別支援学校	普通科	16	11	16	13	16	13
15	桜が丘特別支援学校	普通科	16	8	24	20	8	6
計			360	253	320	229	328	257
倍 率			0. 7 0		0. 7 2		0. 7 8	

※ 特別の理由がある学校については、県教育委員会と協議の上、実情に応じ、定員を超えて入学を許可することができる。

※ 令和 4 年度の志願者見込は、令和 3 年 1 2 月 1 0 日現在の調査結果によるものである。

※ 虹の原特別支援学校高等部就業サービス科は志願者数 9 人（倍率 1. 1 3 倍）、希望が丘高等特別支援学校は志願者数 3 6 人（倍率 1. 1 3 倍）である。また、入学者選考検査は 1 月 1 3 日、1 4 日（虹の原特別支援学校高等部就業サービス科は 1 月 1 4 日のみ）に実施され、合格者発表は 1 月 2 1 日である。

資料 2

令和 4 年度幼稚部志願者見込状況 (4・5歳児は欠員補充)

令和 3 年 1 2 月 1 0 日時点
(単位：人)

障害種別	学 校 名	3 歳 児		4 歳 児		5 歳 児	
		定 員	志願者見込	在籍者	志願者見込	在籍者	志願者見込
視覚障害	盲学校	6	0	0	0	0	0
聴覚障害	ろう学校	6	3	2	0	0	1
	ろう学校佐世保分教室	6	1	1	0	1	2
計		18	4	3	0	1	3

令和 4 年度高等部専攻科志願者見込状況

令和 3 年 1 2 月 1 0 日時点
(単位：人)

障害種別	学 校 名	学 科 名	定 員	志願者見込	備 考
視覚障害	盲 学 校	理 療 科	8	1	本校高等部からの志願者 1
		保健理療科	8	0	本校高等部からの志願者 0
聴覚障害	ろう学校	総合デザイン科	8	3	本校高等部からの志願者 3
		理 容 科	8	2	本校高等部からの志願者 2
計			32	6	

報 告 事 項 (1)

高校教育課

件名	令和4年度県立学校職員（実習助手、寄宿舎指導員）採用試験（第2次試験）及び令和4年度県立学校職員（船員）採用試験の結果について																																																																																																						
概要	<p>1 試験</p> <p>(1) 試験日 令和3年12月13日（月）</p> <p>(2) 試験会場 長崎県庁行政棟</p> <p>(3) 試験内容 ①小論文試験 ②個人面接</p> <p>(4) 合格者発表 令和4年1月14日（金）</p> <p>2 受験者数及び合格者数</p> <p>(1) 実習助手、寄宿舎指導員</p> <p> < A採用（障害者特別採用選考） ></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">志願者数等 職 種</th> <th style="text-align: center;">志願者数 (A)</th> <th style="text-align: center;">受験者数 (B)</th> <th style="text-align: center;">第1次試験 合格者数 (C)</th> <th style="text-align: center;">第2次試験 合格者数 (D)</th> <th style="text-align: center;">倍率 (B)/(D)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実習助手（理 科）</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> </tr> <tr> <td>実習助手（商 業）</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>実習助手（特別支援）</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">6.0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">4.0</td> </tr> </tbody> </table> <p> < B採用 ></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">志願者数等 職 種</th> <th style="text-align: center;">志願者数 (A)</th> <th style="text-align: center;">受験者数 (B)</th> <th style="text-align: center;">第1次試験 合格者数 (C)</th> <th style="text-align: center;">第2次試験 合格者数 (D)</th> <th style="text-align: center;">倍率 (B)/(D)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実習助手（理 科）</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">5.5</td> </tr> <tr> <td>実習助手（農 業）</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">5.0</td> </tr> <tr> <td>実習助手（工業機械）</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">2.3</td> </tr> <tr> <td>実習助手（工業電気）</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">4.0</td> </tr> <tr> <td>実習助手（工業化学）</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">4.0</td> </tr> <tr> <td>実習助手（工業土木）</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">6.0</td> </tr> <tr> <td>実習助手（商 業）</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">7.0</td> </tr> <tr> <td>実習助手（特別支援）</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">14.0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小 計</td> <td style="text-align: center;">62</td> <td style="text-align: center;">58</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">5.3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">寄宿舎指導員</td> <td style="text-align: center;">23</td> <td style="text-align: center;">23</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">23.0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">85</td> <td style="text-align: center;">81</td> <td style="text-align: center;">46</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">6.8</td> </tr> </tbody> </table>	志願者数等 職 種	志願者数 (A)	受験者数 (B)	第1次試験 合格者数 (C)	第2次試験 合格者数 (D)	倍率 (B)/(D)	実習助手（理 科）	1	1	1	1	1.0	実習助手（商 業）	1	1	1	0	—	実習助手（特別支援）	6	6	5	1	6.0	合 計	8	8	7	2	4.0	志願者数等 職 種	志願者数 (A)	受験者数 (B)	第1次試験 合格者数 (C)	第2次試験 合格者数 (D)	倍率 (B)/(D)	実習助手（理 科）	11	11	5	2	5.5	実習助手（農 業）	5	5	5	1	5.0	実習助手（工業機械）	8	7	6	3	2.3	実習助手（工業電気）	5	4	4	1	4.0	実習助手（工業化学）	4	4	4	1	4.0	実習助手（工業土木）	7	6	5	1	6.0	実習助手（商 業）	8	7	6	1	7.0	実習助手（特別支援）	14	14	5	1	14.0	小 計	62	58	40	11	5.3	寄宿舎指導員	23	23	6	1	23.0	合 計	85	81	46	12	6.8
志願者数等 職 種	志願者数 (A)	受験者数 (B)	第1次試験 合格者数 (C)	第2次試験 合格者数 (D)	倍率 (B)/(D)																																																																																																		
実習助手（理 科）	1	1	1	1	1.0																																																																																																		
実習助手（商 業）	1	1	1	0	—																																																																																																		
実習助手（特別支援）	6	6	5	1	6.0																																																																																																		
合 計	8	8	7	2	4.0																																																																																																		
志願者数等 職 種	志願者数 (A)	受験者数 (B)	第1次試験 合格者数 (C)	第2次試験 合格者数 (D)	倍率 (B)/(D)																																																																																																		
実習助手（理 科）	11	11	5	2	5.5																																																																																																		
実習助手（農 業）	5	5	5	1	5.0																																																																																																		
実習助手（工業機械）	8	7	6	3	2.3																																																																																																		
実習助手（工業電気）	5	4	4	1	4.0																																																																																																		
実習助手（工業化学）	4	4	4	1	4.0																																																																																																		
実習助手（工業土木）	7	6	5	1	6.0																																																																																																		
実習助手（商 業）	8	7	6	1	7.0																																																																																																		
実習助手（特別支援）	14	14	5	1	14.0																																																																																																		
小 計	62	58	40	11	5.3																																																																																																		
寄宿舎指導員	23	23	6	1	23.0																																																																																																		
合 計	85	81	46	12	6.8																																																																																																		

(2) 船員

志願者数等 職 種	志願者数 (A)	受験者数 (B)	合格者数 (C)	採用 予定者数 (D)	倍率 (B)/(D)
船員 (機関員)	1	1	1	1	1.0

3 結果の通知

令和4年1月14日 (金)

(参考) 昨年度の実施状況
実習助手及び寄宿舍指導員

< A採用 (障害者特別採用選考) >

志願者数等 職 種	志願者数 (A)	受験者数 (B)	第1次試験 合格者数 (C)	第2次試験 合格者数 (D)	倍率 (B)/(D)
実習助手 (理 科)	3	3	3	0	—
実習助手 (特別支援)	11	11	5	1	11.0
合 計	14	14	8	1	14.0

< B採用 >

志願者数等 職 種	志願者数 (A)	受験者数 (B)	第1次試験 合格者数 (C)	第2次試験 合格者数 (D)	倍率 (B)/(D)
実習助手 (理 科)	13	11	6	1	11.0
実習助手 (農 業)	11	11	7	1	11.0
実習助手 (工業機械)	4	3	2	1	3.0
実習助手 (工業化学)	5	5	4	2	2.5
実習助手 (工業建築)	3	3	3	1	3.0
実習助手 (特別支援)	14	14	5	1	14.0
小 計	50	47	27	7	6.7
寄宿舍指導員	25	25	7	2	12.5
合 計	75	72	34	9	8.0

船員
実施なし

報 告 事 項 (2)

児童生徒支援課

件 名	「長崎っ子の心を見つめる教育週間」の取組結果等について																																				
概 要	<p>1 概 要</p> <p>各学校で教育週間を設定し「地域の子どもを地域ではぐくむ」という気運を高め、「心豊かな長崎っ子の育成（命を大切する心や思いやりの心の育成・あこがれや将来への志の育成・あいさつやマナーの向上）」を目的として、公開授業や体験活動、家庭・地域との連携等の取組を実施した。</p> <p>今年度は新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて、実施期間を5月から7月の間で各学校が設定する一定期間とし、弾力的に取り組んだ。</p> <p>2 実施状況</p> <p>(1) 教育週間中の学校訪問者数及び企画・運営などへの協力者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">小学校</th> <th style="text-align: center;">中学校</th> <th style="text-align: center;">高等学校</th> <th style="text-align: center;">特別支援学校</th> <th style="text-align: center;">全 体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問者数 (人) (一校あたり)</td> <td style="text-align: center;">58,225 (185)</td> <td style="text-align: center;">11,337 (68)</td> <td style="text-align: center;">2,492 (44)</td> <td style="text-align: center;">899 (69)</td> <td style="text-align: center;">72,953 (132)</td> </tr> <tr> <td>協力者数 (人) (一校あたり)</td> <td style="text-align: center;">7,412 (24)</td> <td style="text-align: center;">2,323 (14)</td> <td style="text-align: center;">587 (10)</td> <td style="text-align: center;">205 (16)</td> <td style="text-align: center;">10,527 (19)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[参考] 訪問者数等の推移</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">H 2 9</th> <th style="text-align: center;">H 3 0</th> <th style="text-align: center;">R 1</th> <th style="text-align: center;">R 2</th> <th style="text-align: center;">R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問者数 (人) (一校あたり)</td> <td style="text-align: center;">110,418 (193)</td> <td style="text-align: center;">104,954 (185)</td> <td style="text-align: center;">110,756 (195)</td> <td style="text-align: center;">83,927 (150)</td> <td style="text-align: center;">72,953 (132)</td> </tr> <tr> <td>協力者数 (人) (一校あたり)</td> <td style="text-align: center;">16,776 (29)</td> <td style="text-align: center;">20,296 (36)</td> <td style="text-align: center;">22,002 (39)</td> <td style="text-align: center;">10,845 (19)</td> <td style="text-align: center;">10,527 (19)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、感染及びその拡大リスクを軽減しながら、弾力的に取り組んだ。拡大防止策を第一に考えた結果、3密を防ぐため、訪問者数は減少した。</p>		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	全 体	訪問者数 (人) (一校あたり)	58,225 (185)	11,337 (68)	2,492 (44)	899 (69)	72,953 (132)	協力者数 (人) (一校あたり)	7,412 (24)	2,323 (14)	587 (10)	205 (16)	10,527 (19)		H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	訪問者数 (人) (一校あたり)	110,418 (193)	104,954 (185)	110,756 (195)	83,927 (150)	72,953 (132)	協力者数 (人) (一校あたり)	16,776 (29)	20,296 (36)	22,002 (39)	10,845 (19)	10,527 (19)
	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	全 体																																
訪問者数 (人) (一校あたり)	58,225 (185)	11,337 (68)	2,492 (44)	899 (69)	72,953 (132)																																
協力者数 (人) (一校あたり)	7,412 (24)	2,323 (14)	587 (10)	205 (16)	10,527 (19)																																
	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3																																
訪問者数 (人) (一校あたり)	110,418 (193)	104,954 (185)	110,756 (195)	83,927 (150)	72,953 (132)																																
協力者数 (人) (一校あたり)	16,776 (29)	20,296 (36)	22,002 (39)	10,845 (19)	10,527 (19)																																

(2) 学校で取り組む5項目

- ① 「命に関する講話」等を通して、かけがえのない命を大切にすることを育む。
- ② 本教育週間の取組について、家庭・地域・関係機関等と連携して企画し、運営にあたる。
- ③ 情報モラル教育教材「SNSノート・ながさき」を活用した情報モラルの学びを通して、相手の立場に立った言動などを大切にすることを育む。
- ④ 話し合いや学びの場を通して、「いじめ（SNSによる誹謗中傷・新型コロナウイルス感染症における偏見や差別等を含む）はどんな理由があってもいけないことだ」という意識を育む。
- ⑤ 「道徳の授業」、高等学校及び特別支援学校高等部にあつては「道徳教育に関わる教育活動」を全学級で公開する。

(3) 今年度の各学校の具体的な取組

- ・「命の大切さや思いやり」及び「人権」に関する講話及び集会
- ・情報モラル教育教材「SNSノート・ながさき」を活用した授業
- ・老人クラブとのふれあい体験活動や親子あいさつ運動
- ・「被爆体験講話」や図書ボランティアによる「命の本」読み語り
- ・「生命尊重」及び「いじめ根絶」をテーマにした道徳授業の公開
- ・道徳授業等のWEB配信、録画WEB公開

(4) 「SNSノート・ながさき」を活用した情報モラル教育の実施

- ・令和元年度 実施率…87%
- ・令和2年度 実施率…95%
- ・令和3年度 実施率…93%

報 告 事 項 (3)

生涯学習課

件 名	<p>第 5 1 回九州ブロック社会教育研究大会長崎大会 令和 3 年度長崎県社会教育研究大会について</p>
概 要	<p>1 目的 本大会では、社会教育関係者や学校教育関係者、まちづくり関係者等が一堂に会し、各県・各地域の多様な「連携・協働」の実践について学び合い、語り合うことを通して、「住みたい、住み続けたい、もどってきたい」ふるさとづくりに向けた、社会教育の新たな可能性を考える契機とする。</p> <p>2 対象 九州各県・各市町村社会教育委員及び生涯学習・社会教育関係職員 学校教育関係者 公民館関係者 社会教育関係団体関係者 まちづくり関係者 他</p> <p>3 実施概要</p> <p>(1) 期 日 令和 3 年 1 2 月 1 9 日 (日)</p> <p>(2) 会 場 長崎県庁 大会議室 A B C</p> <p>(3) 参加数 8 5 0 名 県外：約 5 7 0 名、県内：約 2 8 0 名 来場参加：約 1 7 0 名、オンライン参加：約 6 8 0 名</p> <p>(4) テーマ 人を育み、人をつなぎ、持続可能なふるさとをつくる 社会教育を目指して～“連携・協働”をキーワードに～</p> <p>(5) 内 容</p> <p>① 表彰式 令和 3 年度長崎県社会教育委員連絡協議会表彰式</p> <p>② 開会行事</p> <p>③ インタビュー・ダイアログ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ みんなでつくる ふるさとのカタチ ～ふるさとへの思いと、これから私たちができること～ ・登壇者 県立宇久高校 3 年上村盛将、2 年鈴木遥萌、柏田教頭 (一社) 東彼杵ひとこともの公社代表理事 森 一峻 (一社) ナガサキベイデザインセンター代表理事 梅元建治 諫早市飯盛町 地域共生助け合い隊会長 藤本八重子 ・インタビュアー 生涯学習課参事 椋本博志 <p>④ 閉会行事</p>

概 要

(6) 本大会の特徴

- ① 本県社会教育が実践する「多世代・多分野」参画による大会
 - ・インタビュー・ダイアログでは、高校生から高齢者までの多世代、学校・企業・NPO法人等の多分野から登壇者を選出。
 - ・長崎大学との共催。県内大学生（長崎発 GP[※]）の大会運営（司会、録画・配信係、会場係、受付係、案内係）への参画。
（※長崎発グローバル人材育成プログラム 県内 11 大学等が連携して活動している。）
 - ・登壇者以外にも、県内関係団体の様々な活動を展示・映像等で紹介。
 - ・長崎大学教育学部附属小学校児童が考案した、長崎の食材をふんだんに使い郷土料理を盛り込んだ弁当の販売。
- ② 対面とオンラインによる大会運営
 - ・全体会は、対面及びオンライン（ライブ配信）で開催。
 - ・分科会及び全体会は、後日、オンライン録画配信。
（いずれも限定公開の YouTube 配信）

報 告 事 項 (4)

生涯学習課

件 名	第 3 6 期 第 2 回 長 崎 県 社 会 教 育 委 員 の 会 議 結 果 に つ い て
概 要	<p>1. 開催日 令和3年12月19日(日)</p> <p>2. 出席者 社会教育委員14名(欠席2名) 生涯学習課 9名</p> <p>3. 協議事項 (1) 九州ブロック社会教育研究大会について (2) 現在の市町での社会教育の現状について (3) 令和3年度社会教育関係研修会等の取組状況について (4) その他(今後の予定・方向性等)</p> <p>4. 協議内容(概要)</p> <p>○ 九州ブロック社会教育研究大会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登壇者の選定がよく、素晴らしい内容だった。 ・ 委員が特に印象に残った取組としては、以下の通りであった。 <p>① 宇久高等学校の「Uku Labo」の“宇久にないものを創造する”取組 特に魚醤油・マーマレードづくり、宇久島楽園ミーティング</p> <p>② 東彼杵ひとこともの公社の森一峻氏の「一流の田舎づくり」「ひと・もの・ことをつなぐ情報発信」「ひとこともの研究所構想」</p> <p>③ ナガサキベイデザインセンターの梅元建治氏の「思いついたら実践」「学びを通じた地域活動」</p> <p>④ 飯盛地区地域共生助け合い隊の藤本八重子氏の「高齢者がお互い様で支えあう組織づくり」「役に立つ高齢者の背中を見せて地域の後継者を育てる」</p> <p>○ 県内の社会教育の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナの影響により、社会教育も新たな手法を取り入れながら展開している。 ・ これまで社会教育が大事にしてきたもの、例えば、対面の研修や協議の機会が減少し、ICTを活用したものが優先されるようになってきている。 ・ 社会教育関係団体は会員減少に加え、活動の機会も減少し、団体の弱体化に一層拍車がかかっている。 <p>○ 今後の方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状を踏まえて、ICTを活用する場合のメリット・デメリットの整理、検討を行い、今後の社会教育の在り方について、今期中に意見のとりまとめを行いたい。

報 告 事 項 (5)

生涯学習課

件 名	長崎県立長崎図書館郷土資料センター開館記念行事について
概 要	<p>1 開館記念式典</p> <p>(1) 日時 令和4年3月26日(土) 10時～</p> <p>(2) 場所 県立長崎図書館郷土資料センター 集会・研修室</p> <p>(3) 式次第 ①テープカット ②開式、式辞、来賓祝辞、祝賀演奏、閉式 ※式典終了後、内覧会(希望者のみ)</p> <p>2 開館記念講演会</p> <p>(1) 日時 令和4年3月26日(土) 15時～16時30分</p> <p>(2) 場所 県立長崎図書館郷土資料センター 集会・研修室</p> <p>(3) 講師 垣根 涼介氏(諫早市出身・作家)</p> <p>(4) 対象 県民(応募多数の場合は抽選) ※ミライオン図書館をサテライト会場としてライブ配信</p> <p>3 開館式・開館(グランドオープン)</p> <p>(1) 日時 令和4年3月27日(日) 9時50分～</p> <p>(2) 場所 県立長崎図書館郷土資料センター エントランス</p> <p>(3) 内容 除幕式、館長挨拶</p> <p>(4) 開館 令和4年3月27日(日) 10時～ 供用開始</p> <p>4 開館イベント</p> <p>(1) 日時 令和4年1月9日(日)、10日(月) 10時～17時 2月5日(土)、6日(日) 10時～17時</p> <p>(2) 場所 長崎市立図書館 多目的ホール(長崎市興善町)</p> <p>(3) 内容 郷土資料センター紹介パネル展及び利用カード登録コーナー設置</p> <p>※各行事は新型コロナウイルスの感染状況により、内容等が変更になる場合有り</p>

報 告 事 項 (6)

学芸文化課

件 名	長崎県教育庁職員（文化財保護に従事する者）の採用選考試験の結果について														
概 要	<p>1 第1次試験</p> <p>(1) 試験日時 令和3年9月26日(日) 10時～12時、13時～14時</p> <p>(2) 試験会場 県庁行政棟3階 315会議室</p> <p>(3) 試験内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門試験(筆記試験) ・実技試験(遺物実測図作成) <p>2 第2次試験</p> <p>(1) 試験日時 令和3年11月28日(日) 10時～12時</p> <p>(2) 試験会場 県庁行政棟3階 308会議室</p> <p>(3) 試験内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人面接 <p>3 最終合格者 <u>2名</u></p> <p>【選考経過】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">志願者数等 職 種</th> <th>志願者数 (A)</th> <th>第1次試験 受験者数 (B)</th> <th>第1次試験 合格者数 (C)</th> <th>第2次試験 受験者数 (D)</th> <th>最 終 合格者数 (E)</th> <th>倍 率 (B)/(E)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化財保護に 従事する者</td> <td>7 (4)</td> <td>7 (4)</td> <td>4 (3)</td> <td>3 (2)</td> <td>2 (1)</td> <td>3.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ () の数字は女性の受験者数(内数)</p> <p>4 結果の通知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年12月24日(金) ・本課ホームページ掲載と併せて第2次試験受験者全員へ文書にて通知 <p>5 今後のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県人事委員会に対し採用選考申請を行う。 ・令和4年3月開催の人事委員会において正式決定の後、令和4年4月1日付け採用予定。 	志願者数等 職 種	志願者数 (A)	第1次試験 受験者数 (B)	第1次試験 合格者数 (C)	第2次試験 受験者数 (D)	最 終 合格者数 (E)	倍 率 (B)/(E)	文化財保護に 従事する者	7 (4)	7 (4)	4 (3)	3 (2)	2 (1)	3.5
志願者数等 職 種	志願者数 (A)	第1次試験 受験者数 (B)	第1次試験 合格者数 (C)	第2次試験 受験者数 (D)	最 終 合格者数 (E)	倍 率 (B)/(E)									
文化財保護に 従事する者	7 (4)	7 (4)	4 (3)	3 (2)	2 (1)	3.5									

報 告 事 項 (7)

体育保健課

件 名	令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について
概 要	<p>1 調査期間 ●令和3年4月～7月</p> <p>2 調査対象及び参加状況 ()は全国 ●小学校5年生及び中学校2年生(義務教育学校、特別支援学校を含む) ●長崎県 小学生 11,342人(公立学校 1,018,564人) 中学生 10,362人(公立学校 916,758人) ※平成23年度は東日本大震災の影響により全国調査は中止。 ※令和2年度は新型コロナウイルスの影響により調査を中止。</p> <p>3 調査内容 (1) 実技に関する調査(新体力テスト) 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走・シャトルラン、50m走、立ち幅とび、ボール投げ(以上8種目) ※小学校はシャトルラン。中学校は、持久走・シャトルランのどちらかを選択。</p> <p>(2) 質問紙調査 運動習慣、食習慣、生活習慣、学校体育の指導等</p> <p>4 調査結果における全国の概要 ●合計点については、令和元年度に比べ、小中男女ともに低下し、男子は小中ともに過去最低となった。 ●種目別に見ると、前回調査(令和元年度)に比べ ・「上体起こし」「反復横とび」「シャトルラン」「持久走」は、小中男女とも大きく低下した。 ・「長座体前屈」は小中男女とも向上した。 ●「握力」「50m走」「立ち幅とび」「ボール投げ」は、中学男子以外は低下した。</p> <p>5 調査結果における本県の概要 (1) 体力テスト合計点における本県の平均点 ※合計点は80点満点 ●小学校 男子 51.62点(全国 52.52点)(▼0.90点) 女子 53.23点(全国 54.64点)(▼1.41点) ●中学校 男子 41.38点(全国 41.18点)(△0.20点) 女子 49.22点(全国 48.56点)(△0.66点)</p>

(2) 調査結果から判明した本県の課題

- 合計点は、小学男女で全国平均を下回り、中学女子は全国平均を上回った。(小学男女は過去最低)
- 「持久走」「シャトルラン」は、小中男女で全国平均を上回り、中学男女は全国トップレベルである。しかしながら、小中男女で過去最低の記録となり、「動きを継続する能力」の低下が明確となった。
- 「長座体前屈」は中学男子で過去最高の記録であったが、小中男女で全国平均を下回り「体の柔らかさ」が継続した課題となった。
- 「上体起こし」は中学男女で全国平均を上回ったが、小中男女で過去最低の記録となり、「力強い動き」(筋力)の低下が顕著となった。
- 「ボール投げ」は、中学男子を除き、全国平均を上回ったが、小学男女は、過去最低の記録となり、「投げる能力」の低下がみられる。
- 「握力」「50m走」は、小中男女で低下傾向にあり、「反復横とび」は、全国同様、前回調査より大きく低下した。
- 「立ち幅とび」は、小学男女と中学女子で全国が低下したのに対して、本県は向上した。また、中学男子は過去最高の記録となった。

6 1週間の総運動時間の概要

- 1週間の総運動時間が420分以上の割合は全国に比べると高い結果となった。
- 中学男女では運動をする子とそうでない子の二極化の傾向がみられる。
- 中学女子は、1週間の総運動時間が0分の生徒が他と比べて多い結果となった。
- 1週間の総運動時間が0分の児童・生徒への対策が課題である。

7 今後の取組について

- 「体力向上支援委員会」を開催し、体力向上に向けた対策等について検討する。
 - ・調査結果の分析
 - ・親子体力向上実践セミナーの活用と啓発、WEBランキングながさきの運用
- 各学校で、自校の課題改善に向けて計画・実践・評価をする「体力向上アクションプラン」を作成し、体力向上に向けて取り組む。

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の概要について

■令和3年度の全国平均と長崎県平均の比較 1

【表1】

◆実技に関する調査結果【全国平均と長崎県平均の比較表】

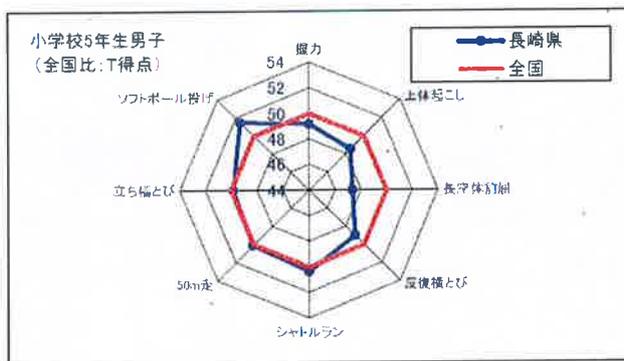
学年・性別・区分 種目	小学校5年生						中学校2年生					
	男子（平均値）			女子（平均値）			男子（平均値）			女子（平均値）		
	有意差	長崎県	全国									
① 握力 (kg)	△	15.90	16.22	△	15.71	16.09	—	28.73	28.80	—	23.50	23.43
② 上体屈こし (回)	△	18.03	18.90	△	17.05	18.08	○	26.27	25.99	○	22.85	22.32
③ 長座体前屈 (cm)	△	31.18	33.48	△	35.01	37.90	△	42.17	43.67	△	43.82	46.20
④ 反復横とび (回)	△	39.52	40.35	△	37.77	38.72	○	51.94	51.19	○	46.94	46.25
⑤ 持久走 (秒)	△	—	—	△	—	—	○	391.02	406.38	○	286.54	297.62
⑥ シャトルラン (回)	○	47.58	46.83	○	39.17	38.13	○	87.72	79.88	○	61.15	54.24
⑦ 50m走 (秒)	—	9.44	9.45	△	9.67	9.64	△	8.10	8.01	△	8.91	8.86
⑧ 立ち幅とび (cm)	—	151.06	151.41	△	144.19	145.13	○	197.30	196.36	○	170.24	166.15
⑨ ボール投げ (m)	○	21.77	20.56	○	13.87	13.30	△	20.00	20.31	○	12.87	12.72
合計点 (点)	△	51.62	52.52	△	53.23	54.64	—	41.38	41.13	○	49.22	48.56

※比較に用いている全国平均値は、公立学校の平均値
 ※【有意差について】 ・「○」…全国平均より優れている 「△」…全国平均より劣っている 「—」…全国平均と同レベル
 ※【種目について】 ・「⑤」については、小学校は「シャトルラン」のみ、中学校は「持久走」又は「シャトルラン」のいずれかを選択
 ・「持久走」については、男子は1500m走、女子は1000m走
 ・「ボール投げ」については、小学校は「ソフトボール投げ」、中学校は「ハンドボール投げ」
 ※【合計点について】 ・合計点は、小学校・中学校とも80点満点（1種目10点×8種目）

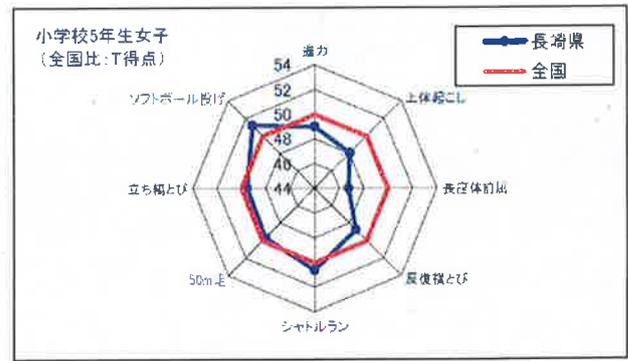
■令和3年度の全国平均と長崎県平均の比較 2

【グラフ2】

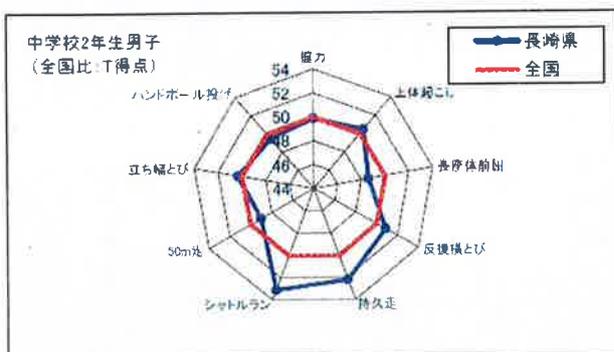
小学校5年生男子



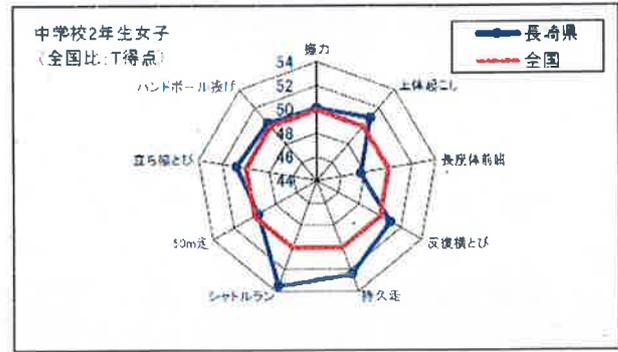
小学校5年生女子



中学校2年生男子



中学校2年生女子



令和3年度と令和元年度の長崎県平均の比較

【表3】

◆前回の実技に関する調査結果との比較【R3年度とR1年度の長崎県平均の比較表】

種目	小学校5年生						中学校2年生					
	男子(平均値)			女子(平均値)			男子(平均値)			女子(平均値)		
	有意差	R3	R1									
① 握力(kg)	—	15.90	15.96	—	15.71	15.78	—	28.73	28.86	—	23.50	23.53
② 上体起こし(回)	△	18.03	19.22	△	17.05	18.08	△	26.27	26.89	△	22.85	23.42
③ 長座体前屈(cm)	—	31.18	31.07	△	35.01	35.48	○	42.17	41.66	—	43.82	44.08
④ 反復横とび(回)	△	39.52	41.41	△	37.77	39.98	—	51.94	52.14	△	46.94	47.57
⑤ 持久走(秒)	△	391.02	390.55	△	286.54	283.84	—	391.02	390.55	△	286.54	283.84
⑥ シャトルラン(回)	△	47.58	52.49	△	39.17	42.96	—	87.72	88.87	△	61.15	64.21
⑦ 50m走(秒)	—	9.44	9.43	—	9.67	9.66	—	8.10	8.09	△	8.91	8.86
⑧ 立ち幅とび(cm)	○	151.06	150.28	—	144.19	143.91	—	197.30	196.34	—	170.24	169.95
⑨ ボール投げ(m)	△	21.77	22.58	△	13.87	14.27	△	20.00	20.34	—	12.87	12.86
合計点(点)	△	51.62	52.94	△	53.23	54.92	—	41.38	41.40	△	49.22	49.73

※【有意差について】 ・「○」…昨年度より優れている 「△」…昨年度より劣っている 「—」…昨年度と同レベル ※有意差は5%

※【種目について】 ・「⑤」については、小学校は「シャトルラン」のみ、中学校は「持久走」又は「シャトルラン」のいずれかを選択

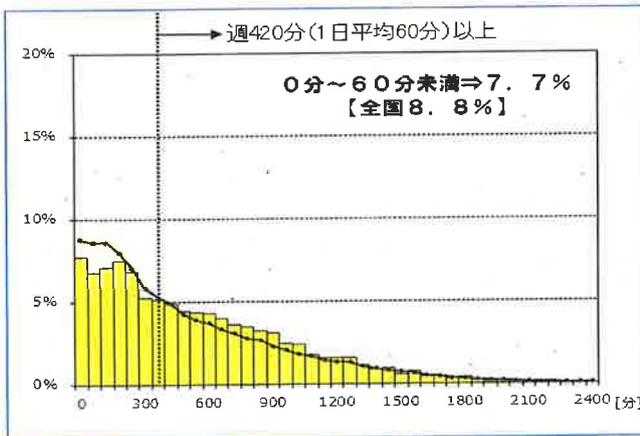
・「持久走」については、男子は1500m走、女子は1000m走

・「⑨ボール投げ」については、小学校は「ソフトボール投げ」、中学校は「ハンドボール投げ」

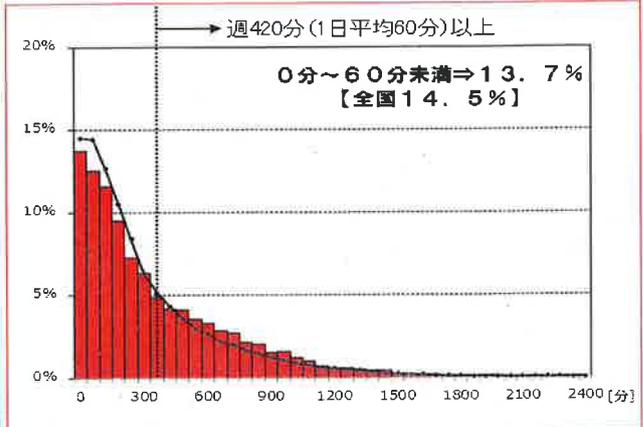
※【合計点について】 ・合計点は、小学校・中学校とも80点満点(1種目10点×8種目)

■ 1週間の総運動時間

小学校5年生男子

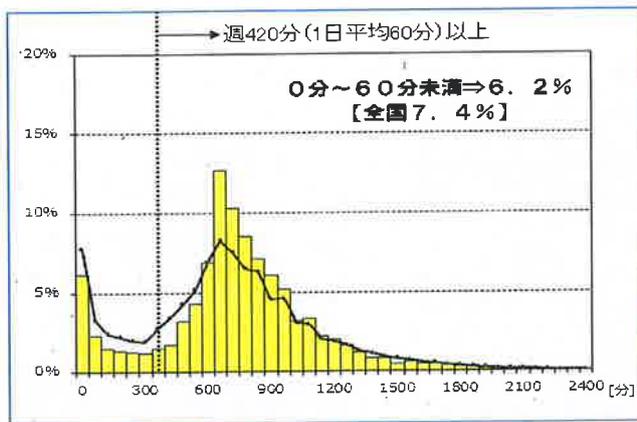


小学校5年生女子

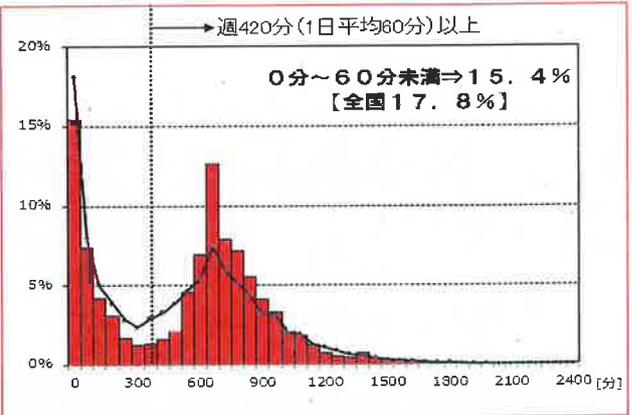


※折れ線グラフは、全国の分布です

中学校2年生男子



中学校2年生女子



※折れ線グラフは、全国の分布です

【表5】

小学校

男子	0分	1～59分	60～419分	420分～
全国	4.0%	4.8%	43.2%	48.0%
長崎県	3.8%	3.9%	38.6%	53.6%

女子	0分	1～59分	60～419分	420分～
全国	5.1%	9.4%	57.2%	28.3%
長崎県	4.9%	8.8%	52.0%	34.3%

中学校

男子	0分	1～59分	60～419分	420分～
全国	5.3%	2.1%	13.4%	79.1%
長崎県	4.4%	1.8%	9.0%	84.8%

女子	0分	1～59分	60～419分	420分～
全国	11.3%	6.5%	23.8%	58.4%
長崎県	9.4%	6.0%	19.0%	65.6%

